

職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

申請日: 令和7年9月22日

①学校名:	湘南医療大学		大学(私立)	②所在地:	神奈川県横浜市戸塚区上品濃16-48	
③課程名:	認定看護管理者教育課程ファーストレベル					
④正規課程／ 履修証明プログラム:	履修証明プログラム(短時間)	⑤定員:	30名		⑥期間:	2ヵ月
⑦責任者:	看護キャリア開発コアセンター センター長 川本利恵子		⑧開設年月日:	令和2年10月15日		
⑨申請する課程 の目的・概要:	<p>日本看護協会の認定看護管理者制度に基づき、認定看護管理者の教育課程として定められているファーストレベル・セカンドレベル・サードレベルの3課程のうち、ファーストレベルの教育を行う。認定看護管理制度は、多様なヘルスケアニーズを持つ個人、家族及び地域住民に対して、質の高い組織的看護サービスを提供することを目指し、看護管理者の資質と看護の水準の維持及び向上に寄与することにより、保健医療福祉に貢献している。認定看護管理者は、管理者として優れた資質を持ち、創造的に組織を発展させることができる能力を有すると認められた者をいう。</p> <p>当課程では、看護管理者が組織的看護サービスを提供するために必要な管理に関する基礎知識・技術・態度を修得することを教育目的とする。受講者は、講義やグループワークを通して、ヘルスケアシステムを理解し、組織における問題を客観的に分析し、看護管理者としての役割と責任を考察することで、看護管理者として活躍するために必要な能力を修得する。</p>					
⑩10テーマへの 該当	1 女性活躍	3 中小企業活性化	5 環境保全	7 医療介護	9 起業	○
	2 地方創生	4 DX	6 就労支援	8 ビジネス等	10 防災危機管理	
⑪履修資格:	<p>次の1～3のすべてを満たす者に履修資格を与える。</p> <p>1.日本国の看護師免許を有する者。</p> <p>2.看護師免許を取得後、実務経験が通算5年以上である者。</p> <p>3.管理的業務に関心がある者。</p>					
⑫対象とする職 業の種類:	看護師、保健師、助産師					
⑬身に付けること のできる能力:	<p>(身に付けられる知識、技術、技能)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護管理に関する基礎的な知識 <p>(得られる能力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヘルスケアシステムの構造と現状を理解する能力 ・組織的看護サービス提供上の諸問題を客観的に分析する能力 ・看護管理者の役割と活動を理解し、これからの看護管理者のあり方を考察する能力 					
⑭教育課程:	<p>日本看護協会が定める認定看護管理者カリキュラム基準に基づいて実施している。カリキュラム基準の科目は、「ヘルスケアシステム論Ⅰ」「組織管理論Ⅰ」「人材管理Ⅰ」「資源管理Ⅰ」「質管理Ⅰ」「統合演習Ⅰ」で構成されている。</p> <p>「ヘルスケアシステム論Ⅰ」で、社会保障制度概論、保健医療福祉サービスの提供体制、ヘルスケアサービスにおける看護の役割について講義およびグループワークを通して学び、看護管理に必要なヘルスケアシステムに関する基礎知識を修得する。</p> <p>「組織管理論Ⅰ」で、組織マネジメント概論、看護実践における倫理について講義およびグループワークを通して学び、看護管理に必要な組織管理に関する基礎知識を修得する。</p> <p>「人材管理Ⅰ」で、労務管理の基礎知識、人材育成の基礎知識、看護チームのマネジメントについて講義およびグループワークを通して学び、看護管理に必要な人材管理に関する基礎知識を修得する。</p> <p>「資源管理Ⅰ」で、経営資源と管理の基礎知識、看護実践における情報管理について講義およびグループワークを通して学び、看護管理に必要な資源管理に関する基礎知識を修得する。</p> <p>「質管理Ⅰ」で、看護サービスの質管理について講義およびグループワークを通して学び、看護管理に必要な質管理に関する基礎知識を修得する。</p> <p>「統合演習Ⅰ」で、グループディスカッションを通して、自部署の問題および課題について考え、看護管理者としての役割を整理し、対応策を立案する能力を修得する。</p>					
⑮修了要件(修了 授業時数等):	<p>下記の要件を全て満たしていること。</p> <p>1.各教科目時間数の4/5以上出席していること</p> <p>2.全ての教科目の審査結果が「A」「B」「C」「D」の4段階評価で「C」以上であること。</p> <p>(A:80点～100点、B:70～79点、C:60～69点、D:59点以下)</p>					

⑯修了時に付与される学位・資格等:	認定看護管理者教育課程ファーストレベル修了証書および履修証明書が付与される。				
⑰総授業時数:	111	時間	⑱要件該当授業時数:	111	時間
			⑲要件該当授業時数／総授業時数:	100	%
⑳該当要件	企業等	双方向	○	実務家	○
				実地	
㉑成績評価の方法:	講義への出席状況、レポートの成績、グループワークへの参加状況、プレゼンテーションの内容を総合的に判断して成績評価を行う。詳細は様式2別添「受講要綱」P6～P11を参照のこと。				
㉒自己点検・評価の方法:	学校教育法第109条第1項に定める評価を実施する。理事長も出席する看護キャリア開発コアセンター会議において、当課程の受講計画や開催状況、成果について検証し、評価を行う。また、当該検証・評価結果については本学ホームページにおいて公表する。				
㉓修了者の状況に係る効果検証の方法:	修了者に対し、当課程に対するアンケートを実施する。				
㉔企業等の意見を取り入れる仕組み:	(教育課程の編成) 外部機関も委員として参加する教育運営委員会において、教育課程の編成について意見を取り入れている。また外部機関の理事が構成員として加わる理事長会議にて、その意見について審議し必要な修正を行っている。				
	(自己点検・評価) 外部機関も委員として参加する教育運営委員会において、教育課程の自己点検・評価を行っている。また外部機関の理事が構成員として加わる理事長会議にて、その内容について審議し必要な修正を行っている。加えて、日本看護協会による定期的な審査および視察を受審している。				
㉕社会人が受講しやすい工夫:	土曜日にも講義を実施している。また、週に2～3日程度の開講とすることで、社会人が受講しやすい工夫を行っている。				
㉖ホームページ:	https://sums.ac.jp/html/antc/				